

平成29年度 第7期 四国大学提供講座「社長塾」



第1講
(株)サンフート
(マクドナルドFC)
代表取締役
山城 真一 氏

「何のために学ぶのか」

皆さんは四国大学で既に2年間学んでいます。授業料を気にしたことはありますか？この学費にあった学びをしていますか？ビジネスではこの学びは投資にあたります。

弊社は経営理念を実現するために投資をし、社員と共に成長してファンがいっぱいの店舗を創り、徳島の発展に寄与すべく働いています。

中小企業家同友会では本音の議論を大事にしています。社長塾でもグループ討論をしてもらいますが、人の意見に傾聴して、自分の意見を述べるのが大事です。誰と話しても何か学ぶことはあるはず。受け方はそれぞれ違いますが、グループ討論で「こんな聞き方もあるんだ」と気付くことができ、本音で議論をすることで半年後にはいろいろな学びがあるでしょう。社会にでるとコミュニケーションで悩むこともあると思いますが、グループ討論はその訓練になるので、積極的に参加してください。そして社長塾で、学費以上の学びをして欲しいと思います。



第2講
(株)桶幸ウチダ造花
(葬祭業)
取締役部長
南 智子 氏

「自分の可能性を
広げるために大切なこと」

私は第一印象で「小さい人」だとよく言われ、背が低いことが子どもの頃からのコンプレックスでした。しかし、その小ささが印象に残り、覚えてもらっていることに気付くと、他の人にはない私の武器だと思えるようになりました。

家業である葬祭業を継ぐのが嫌だと思っていた時期もありましたが、お葬式は亡くなった方の人生を振り返る場であり、残された人は人生をもう一度考える機会になるのだと知ったことで、この仕事の大切さに気付きました。

言葉の伝わり方や、物事の捉え方は人によって違いますが、マイナスがプラスに転じるかどうかは考え次第です。自分にはどんな仕事に向いているのか、また仕事に対しての不安など、自問自答している人もいます。この社長塾でいろんな経営者の話を聞き、自分の武器になるものを見つけてください。自分には合わないと思っている業種でも、どこにヒントがあるか分かりません。皆さんのこれからの人生に、プラスなれることがあれば嬉しく思います。



第3講
(株)シケン
(歯科技工物の製造・販売)
代表取締役
島 隆寛 氏
「創造と挑戦」

当社は父が創業した会社です。私は両親の姿を見て新しいものやサービスを創造してきました。時代はどんどん変化していますが、ダーウィンの言葉にもあるように唯一生き残ることができるのは変化に適応できる者です。通信技術やコンピューターの発展など、外部環境の変化は悪い話ばかりではありませんが、対応していく必要があります。

「3Dプリンタで歯が簡単に作れるようになったらどうしますか？」と質問されることがありますが、デジタル化時代にふさわしい当社の強みが生きるビジネスを展開していこうと、日々創造と挑戦を行っています。時代の変化は、利用しようとするものには「好機」となり、無視するものには「脅威」となります。何も挑まないで後悔するなら挑戦するべきで、時代に対応した新しい価値あるものの創造は人々を幸せにします。限られた人生の中で、何か熱中できるものがあれば人生は充実します。今日の話が、皆さんの今後の人生に役立つことを期待しています。



第4講
(株)龍王
(生コンクリート製造、販売)
取締役
金田 知奈美 氏
「生コンという仕事・
自分に合う仕事」

生コンクリートは、建設を通じて人々の暮らしを支えています。実際に生コンを目にするのは少ないと思いますが、生コン製造はなくてはならない仕事で、製造するためにたくさんの方が関わっています。

私は同友会に入会后、弟である常務と経営指針実践塾を受講し、大変な思いで経営理念を完成させました。この経営理念は、社長の思いと自分たちがやってきたことが同じ方向であることを表していました。しかし、社員さんは「地図に残る仕事」をしているという思いが薄く、どうやって経営理念を共感してもらうかは、現在も模索している最中です。

私は学生時代に経験した、成功・失敗を含めすべての体験が今に結び付いていると思っています。皆さんは就職に対して高い意識を持っているはずなので、今を無駄にせず自発的に行動してみてください。そして自分が働く姿を想像して、自分に合う仕事を知ってください。また、就職後は教わるだけでなく、自分の力で学ぶことも大切にしてください。



第5講
(有)守野
 (木材製品製造販売・不動産業)
 代表取締役
守野 英樹 氏
 「大切にしていること」

当社は那賀川上流の杉を仕入れ、加工した材木をホームセンターなどに販売している会社です。材木の魅力は調湿能力に優れていることです。経営理念や行動指針にあるように、山で大切に育てられた材木を無駄にせず、手間がかかってもきちんと使い切るのが当社の強みです。

仕事をする上で、安全第一であること、実際に現場を見ることを大事にしています。自分自身では服装や身だしなみにも気を付けています。また、おかしいと思ったことはできるだけその場で話すようにしています。自分の思いを話すのは難しく、それを相手に伝えるのはもっと難しいことですが、訓練だと思って学生のうちに実践してみてください。

今までのご縁があったからこそ今の私があると思っています。学生時代にはたくさん本を読み、人生経験が豊富な先生と話をするなど、いろんな年代の人と関わって欲しいと思います。皆さんそれぞれスピードは違いますが、必ず成長します。それはすべて自分の力です。失敗してもそこからまた進めば良いので、前を向いて頑張ってください。



第6講
(株)小林ゴールドエッグ
 (鶏卵卸売業)
 代表取締役
小林 真作 氏
 「考え方を変えること」

弊社はたまごを通して、おいしさと健康を安心安全にお届けしている会社です。先代が他界したことで代表になった当初、うちの会社は弱みばかりだと思っていました。しかし理念をもとに考え方を少し変えただけでその思いは逆転し、鶏種・年齢・白身黄身の比率などの膨大なデータを取ると、弱みだと思っていたことが実は宝の山であることに気づきました。また、「おいしさとは最終的に料理を食べた人がおいしいと言ってくれることだ」という思いから、たまごのソムリエという取り組みをはじめました。消費者視点からのこだわった商品開発と商品研究をすることで、料理に特化した専用たまごができ、わくわくする価値と繁盛を提供しています。

弱みと強みは紙一重なので、考え方を変えることはとても大切です。つまらない仕事などなく、つまらない考え方があるだけです。将来、皆さんがどんな仕事に就いたとしても、「物ではなく価値をどう伝えるか」という考え方を忘れないでください。



第7講
(株)パッケージ松浦
 (包装資材販売)
 代表取締役社長
松浦 陽司 氏
 「人生の目的は
 幸せになること」

幸せは感じるものです。この世には幸も不幸もなく、今幸せだと感じる事が大切です。

私が家業を継いだ当時は御用聞きが仕事で、お客様の要望に応じて感謝されることは少なく、社内の雰囲気は悪くなる一方でした。社員がどんどん退職し、その頃の仕事は辛く苦しいものだと思っていました。

同友会には共に学ぶ仲間がたくさんいます。経営指針を創る会で「パッケージは商品の洋服」だと気付かされ、徐々に誇り高い仕事だと思えるようになりました。また、パッケージを通してお客様の繁盛に貢献したいという思いから、パッケージマーケティング業を名乗るようになりました。仕事に誇りをもち、考え方・やり方を変えたことで、関わる全ての方と楽しんで仕事ができるようになりました。

人生の目的は幸せになることです。皆さんは自分が幸せになるために就職してください。そのためには企業を見極めて、自分の方針と合っている会社を選ぶことが大切です。



第8講
佐藤デザイン工房
 (デザイナー)
 代表
佐藤 あすか 氏
 「凹んだ時は、なるべく
 ポジティブに考える」

デザインを通して、お客様の思いを形にする仕事をしています。日本の全企業数のうち小規模事業者は8割以上を占めているということで、小規模事業者である私がまじめに仕事に取り組むことが、日本全体の幸せにつながるという思いで働いています。

デザイナーになり数々の凹む経験をしてきました。中でも最大の経営危機に直面した際は、先が見えず苦しかったことを覚えています。そんな折、同友会に出会い経営理念を成文化したことは、人生全体をポジティブに考えられるようになった大きな変革でした。以降、私自身が幸せを感じられる人間であることが、家庭、地域、日本、世界の幸せにつながるスタートラインだと考え行動しています。

これから社会に出るみなさんにはいろんな困難が訪れると思いますが、それは必ず自分の成長につながります。凹んだ時は「必ず自分のためになる」と前向きに考えて、社会に幸せの輪を広げていってくれることを期待しています。

平成29年度 第7期 四国大学提供講座「社長塾」



第9講
(株)庄の屋
(建設業・建設材料小売)
代表取締役
庄野 章夫 氏
「先輩社会人(経営者)
からのエール」

弊社は1970年に両親が創業しました。今振り返ると、当時は両親と私の三方からの指示で、社員さんは戸惑っていたと思います。代表になりフラットな目線で社員さんと関わることを心掛け、なるべく社員さんに寄り添うようにしています。経営指針書は経営者としての覚悟の表れであり、また進むべき方向を明確にしてくれるので、社内での浸透を図るためにも毎年全員で更新し、発表しています。

弊社では5年連続で新卒採用を行っています。人材は最大の地域資源だと思っているので、そのお預かりした原石を磨いて輝いてもらうために様々な取り組みをしています。社員の成長する姿を見ることは経営者として大変幸せなことであり、会社の成長の証です。それが世の中のためになり、自らの成長にも繋がっていきます。

学生の皆さんには、できるだけたくさんの本を読むこと、自分がリフレッシュできる方法を見付けること、いつでも相談できる人生の先輩を見つけることをお勧めします。皆さんの人生に輝くような未来が訪れることを祈っています。



第10講
アール・エスホーム(株)
(アイフルホームFC)
代表取締役
多田 稔治 氏
「限りがある中で、
学生生活をどう充実させるか」

物事には必ず限りがあり、皆さんの学生生活にも終わりがあります。生きていることは寿命に向かって近づいていることなので、この一瞬はとても貴重な時間だということになります。お金にも限りがありますが、お金を支払うことは体験を得るということです。様々な体験が自分の心の糧となり、その経験が人としての深みや厚みを大きくします。そして自信となり、次の成功へと結びつきます。人生を豊かにするために、限られた学生時代の有効な時間とお金の使い道を探してみてください。

弊社は「日本一の顧客満足を生み出す企業になる」と信じてやみません。高い理想を持つことで、現実とのギャップを埋めようと努力します。自分の理想をどこに置かによって可能性の幅が決まるので、自分の可能性を信じて夢を持ち、その夢に向かって進んでみるのが大切です。

人生とは経験の積み重ねです。これから何かを始めようとするのは、自分への投資です。新しいことを積み重ねていろんな経験をしてほしいと思います。



第11講
(株)ネオビエント
(指定管理業)
代表取締役
藍原 理津子 氏
「私の想い～徳島の
新しい風になるために」

ネオビエントは“新しい風”を意味しています。経営理念にあるように、徳島の新しい風となり、関わるすべての人々の人生を豊かにするという想いがあります。夢と笑顔に包まれた魅力あふれる地域を創り、伝え、つなげていき、私達にしかできないことを追求していきたいと思っています。

突然の代表就任に戸惑い、辛い思いもしましたが、一生懸命に取り組むことで徐々に受け入れられ、経営者として少しですが成長したように思います。人から何かを頼まれるのは可能性を信じてくれていることなので、その期待に応えられるようなるべく引き受けるように心がけています。

徳島の新しい風になるためには、私達社員一人ひとりが商品でなければいけません。新しい創造の発想が社員の強みであり、お客様の「あったらいいな」を形にできるのが弊社の強みです。私達全員が商品だと思っているので、元気な社員をつくるのが私の使命です。笑顔あふれる社員と一緒に、100年続く企業を目指していきたいと思っています。



第12講
岡田企画(株)
(健康増進施設の運営)
代表取締役
岡田 后代 氏
「社員像・企業像・未来像」

弊社は34年連続で新卒採用を行い、毎年新入社員が増えることで、教え、学び、研修し合う社風が自然とできています。社員像は、すべての人が達成することを心から応援しそれを喜びだと感じられる仲間たちです。新入社員研修では、できるようになることを体感し、喜びと楽しさを伝えています。配属後は経験したことを実際の業務に活かし、お客様の元気と健康のために育んでいただいています。

弊社では、お客様の心と体の状態を感じ、対応し語りあうことを大切にしています。また、社員さんの得意なことをプログラムに取り入れることで、仕事にやりがいや楽しみを見だし、最終的にはあらゆる世代のお客様のご要望に応えられる会社組織を目指しています。

これからは地域のコミュニティーの場として出逢いが生まれ、健康に笑顔で明日を迎えられるような施設づくりを目指します。そして、一人ひとりの個性が輝いて笑顔で明日を迎えられるような街づくりをしていきたいです。



第13講

(株)姫野組
(総合建設業)

取締役常務執行役員
姫野 敬行 氏

「役に立つ」という意味」

人口減少・少子高齢化の中、日本は持続的経済成長実現のための課題がたくさんあります。経営者は、生産性向上の課題について正面から向き合う必要があります。

建設業は経済活動や社会の基礎構造であるインフラストックを供給することで、暮らしに安全・効率・快適をもたらし、経済成長や経済競争力を生み出す役割を持っています。当社は明治15年に創業し、徳島の基礎構造の形成を通じて産業と暮らしを支えていると自負しています。創業以来地域に育まれた当社は、地域への還元が存在意義であり、そのための様々な取組みをしています。

資本主義社会では、創造される付加価値が豊かさの源泉です。会社は付加価値を創造するチームとして、社会人は会社の価値創造への貢献で社会に役立ちます。新入社員の給与は、付加価値の還元と将来への投資を併せ持つため、価値創造への貢献意識が大切です。やがて皆さんも先輩となり後輩への投資を支える立場になるのです。

討論テーマ一覧

- 第1講 ①心身健康であるための習慣はありますか？
②四国大学でなんのために学んでいますか？
- 第2講 家族や目の前にいる人を大切にしていますか？
- 第3講 挑戦していること、将来挑戦したいことはありますか？
- 第4講 「自分に合う仕事」を想像できますか？その仕事のために頑張っていること、頑張ろうと思うことは何ですか？
- 第5講 素敵な大人ってどんな方ですか？そうなるためにしている事、これからしたら良いと思う事はありますか？
- 第6講 あなたが将来仕事に就いたとき、その仕事を通して、あなたのお客様にどうなってほしいですか？
- 第7講 自分の成長・誰かの喜びのために何をしていますか？
- 第8講 過去の「凹んだ出来事」は、今のあなたにどのように影響していますか？
- 第9講 “知的資産”と“消耗品的人材”の違いってどこだと思いますか？
- 第10講 何に時間とお金を使ってみるか？
- 第11講 ①岐路に立った時、どんな基準で道を選びますか？
②あなたが譲れないものは何ですか？
- 第12講 “会話”と“対話”の違いを感じてみましょう。
- 第13講 社会人になって、どのように社会の役に立ちたいと考えていますか？
- 第14講 社長塾で学んだことは何ですか？
それを今後の人生でどう活かしていきますか？

